

令和4年度第1回通常理事会議事録

I 会議開催の日時及び開催方式

- 1 日 時 令和4年5月10日
14時00分から16時00分まで
- 2 開催方式 オンライン開催（Zoom Meetings を使用しての開催）

II 議決権のある構成員総数、構成員の議決権総数、定足数及び出席者数等

- 1 議決権のある構成員総数 7名
- 2 構成員の議決権総数 7名
- 3 定足数 4名
- 4 出席者数 7名
- 5 出席した理事及び監事
 - (1) 出席理事 佐藤博恒、志田真人、岩淵範好、守山忠男、田野岡肇、齋藤俊治、杉埜富雄
 - (2) 出席監事 滝澤成、古屋強
- 6 議長 佐藤博恒

III 議 案（審議事項及び議決事項）

- 第1号議案 令和3年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和3年度決算報告承認の件
- 第3号議案 役員候補者の件
- 第4号議案 その他の件

IV 報告事項

- 報 告 1 代表理事の職務執行状況報告の件
- 報 告 2 賛助会員入会の件
- 報 告 3 感謝状贈呈の件

V 開 会

令和4年度第1回通常理事会をオンラインで開催するに際し、使用するアプリケーションソフトウェア（Zoom Meetings）が、正常に作動し、出席者全員の音声と画像がそれぞれのモニター画面を通じて共有され、適時、的確にお互いが意見を表明できる状態に調整されており、出席者が一堂に会したのと同等の相互に十分に議論できる環境下にあることを、出席者全員が確認した。

定刻、総務部長が令和4年度第1回通常理事会の開会を宣言した。

VI 会長挨拶

会長が、要旨次のとおり挨拶された。

「世界的に大きな動きの中にあり、日本への影響も例外ではなく、いろいろな問題が出てきている。経済が良くない方向に行くことが心配されるが、今は心配するより地に足を付けて日々過ごすことが重要ではないかと考える。

全基連の事業に目を向けると、令和3年度は、改善の兆しが少し見えたものの、依然としてコロナ禍の影響は大きく、競争も激しさを増した厳しい年であった。

令和4年度については、各事業とも適切・丁寧に運営し、次につながる信頼を得ること、引き続き経費の節減に努めることで、活性を取り戻すための足掛かりとしたい。そのためには、連合体としての当連合会と会員がともに知恵を出し合い、工夫を凝らすことが何より重要であるので、会員各位の協力をお願いしたい。」

VII 議事の概要

1 会長の議長就任

定款第38条の規定に基づき、会長が議長に就任した。

2 定足数の確認等

総務部長が、議決権のある構成員総数7名、構成員の議決権総数7名、定足数4名、本日の出席者数は理事全員出席の7名であると報告した。

3 会議の有効成立宣言

議長は、総務部長の報告を受けて、本通常理事会は、定款第39条に規定する定足数（理事の過半数の出席）を充足しており、有効に成立していることを宣言した。

4 議事録署名人の指定

議長が、本会議の議事録署名人は、定款第22条第2項の規定によると「出席した代表理事及び監事」となっているとして、出席代表理事（会長及び副会長）2名と出席監事2名を指定した。

5 議事経過の要領及びその結果

【審議事項及び議決事項】

- (1) 第1号議案 令和3年度事業報告承認の件
- (2) 第2号議案 令和3年度決算報告承認の件

第1号議案と第2号議案は相互に関連性を有するので、議長は両議案を一括上程し、事務局長が要旨次のとおり説明した。

【令和3年度事業報告】

- ア 公益目的事業1（教育・研修事業）の「労務管理セミナー」、「衛生管理者免許試験受験準備講習会」、「働くときのA・B・Cセミナー」、「個別労働紛争解決研修（基礎・応用等）」、「外国人技能実習制度関係者養成講習」の実施結果、「新任人事労務・安全衛生管理担当者研修（仮称）」の進捗状況並びに今後の課題など。
- イ 公益目的事業2（情報提供事業）の「労働基準関係判例情報の提供」、「メールマガジンの発行」の実施結果など。
- ウ 公益目的事業3（国等からの受託事業）の「大学生・高校生等を対象とした労働条件セミナー事業」、「個別労働紛争の防止・解決のための労働法制普及・啓発事業」、「労働者派遣事業者の適正化推進事業」「労働条件ポータルサイト『確かめよう労働条件』の設置・運営における労働基準法等の情報発信事業」、「受動喫煙防止対策等セミナーの開催」、「インターネット監視による労働条件に係る情報の収集事業」、「外国人労働者安全衛生管理支援事業」、「労働問題に関する調査研究」に係る事業成果など。
- エ 収益事業（広報・出版事業）、公益目的事業の実施結果など。

【令和3年度決算報告】

貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、附属明細書、財産目録により、令和3年度の収支並びに財産の状況等を説明。

議長からの求めに応じ、監事が定款第15条の規定に基づき、令和3年度に係る計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書、理事の職務執行状況の監査、法人の業務及び財産状況の調査の対象とその方法を報告した後、要旨次のとおり、監査結果を報告した。

ア 業務監査の結果

- ① 理事の職務執行に、不正の行為、法令又は定款に違反する事実は認められない。
- ② 法人の業務は、法令、定款及び規程等を遵守し、適正に運営されているものと認める。
- ③ 事業報告及びその附属明細書は、正しく表示されており、不当な事項は認められない。

イ 会計監査の結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法令、公益法人会計基準及び定款等に基づき、法人の財産及び損益の状況を正しく表示しているものと認める。

以上の説明と報告を受けて審議した結果、第1号議案と第2号議案は、ともに全会一致で可決された。

(3) 第3号議案 役員候補者の件

議長は第3号議案を上程し、事務局長が要旨次のとおり説明した。

ア 今回、理事2名から、任期途中での辞任の申し出があったこと。

イ 本理事会では、5月25日に開催する通常総会において選任いただく理事の候補者を審議いただきたいこと。なお、候補者については議案書の役員候補者名簿のとおりであり、候補者の方からは、その内諾をいただいていること。

ウ 候補者の略歴を説明。

エ 候補者の就任年月日は第3号議案記載のとおりであり、5月25日開催の通常総会で新任された役員の任期は、現在就任されている他の役員同様、令和5年度通常総会終結のときまでとなること。

以上の説明を受けて審議した結果、第3号議案は、全会一致で原案どおり可決された。

(4) 第4号議案 その他の件

議長は、その他に議案として審議すべき事項がないか諮ったところ、第4号議案として「令和4年度通常総会の開催方式変更の件」が上程され、事務局長が要旨次のとおり説明した。

令和4年度通常総会の開催方式は、新型コロナウイルスの感染状況等を勘案し、令和3年度第3回通常理事会で承認された（令和4年3月24日付）開催方式を「オンライン開催」に変更すること。

この説明を受けて審議の結果、第4号議案は、全会一致で原案どおり可決された。

その他、議案として提出されたものはなかった。

【報告事項】

(1) 代表理事の職務執行状況報告の件

代表理事が、公益社団法人の運営に関する職務（内閣府への事業計画書・収支予算書の提出、支部人事関係等）及び各種事業の運営に関する職務の執行状況を報告した。

(2) 賛助会員入会の件

会長が、要旨次のとおり報告し、理事会が全会一致で同意した。

- ア 賛助会員の入会は、定款第6条第3項で「会長がその入会を次の理事会に報告し、その同意を得なければならない」と規定していること。
- イ 当連合会の目的、事業活動に賛同し入会の申込みのあった第2種賛助会員1名（1口）について審査の上、これを承認したこと。
- ウ 賛助会費は、定款第7条第3項で「その2分の1は公益目的事業会計のために充当する」と規定していることから、公益社団法人にとって非常に重要な要素を占めていると考えていること。

(3) 感謝状贈呈の件

事務局長が、要旨次のとおり報告した。

全基連の発展に寄与するとともに、全基連が行う事業活動に尽力し、広く事業場における一般労働条件の改善等に顕著な功績のあった個人又は団体を表彰している。今年度は、正会員である都道府県労働基準協会連合会等並びに全基連支部に表彰候補者の推薦を依頼したが、推薦はなかったこと。

VIII 閉 会

以上、通信用アプリケーションソフトウェア（Zoom Meetings）を用いてオンラインにより開催した令和4年度第1回通常理事会は、当該アプリが終始正常に作動した結果、議事並びに報告の全部を支障なく終了したので、議長が閉会を宣言した。

以上のとおり相違ありません。

令和4年5月10日

代表理事 公益社団法人全国労働基準関係団体連合会
会長 佐藤 博 恒

代表理事 公益社団法人全国労働基準関係団体連合会
副会長 志田 真 人

監 事 公益社団法人全国労働基準関係団体連合会
滝澤 成

監 事 公益社団法人全国労働基準関係団体連合会
古屋 強

本議事録の作成事務にかかわった者の職氏名
公益社団法人全国労働基準関係団体連合会
総務課長 乾 倫 彰